

NISSEI

上腕式デジタル血圧計

DS-S10M

取扱説明書

ご使用の前に

測定方法

測定記録の確認

お客様サポート



もくじ

もくじ	2
-----------	---

ご使用の前に

安全上のご注意	4
次のものが揃っていますか？	12
使用前の準備	14
① 電池を挿入する	14
AC アダプタで使用する場合	16
② 時計を設定する	17
③ CN キーを表示させる	19
正しく測るための注意事項	20

測定方法

血圧を測定する	22
① 腕帯を本体に接続する	22
② 椅子に座り腕帯を巻く	22
③ メモリーを選択する	25
④ 電源を切る	26
⑤ 測定を開始する	27
⑥ 測定結果を確認する	28
⑦ 電源を切る	30

手動で加圧する.....	31
--------------	----

測定記録の確認

保存されている結果をみる.....	32
① 測定結果を確認する.....	32
② 個別の測定結果を確認する.....	33
③ 朝と夜の測定結果を別々に確認する...	34
④ 電源を切る.....	35
保存されている結果を削除する.....	36

お客様サポート

知っておきましょう.....	38
困ったなと思ったら.....	42
本品の取り扱いに関して.....	46
製品仕様.....	48
技術サポート.....	51
品質保証書.....	裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この[安全上のご注意]をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、本品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

禁忌・禁止	本品の設計限界または不正使用等、責任範囲を超える対象および使用方法。 (誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。)
注 意	本品の使用にあたっての一般的な注意事項。 (誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。)

※物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

禁忌・禁止

<適用対象(患者)>

- 1) 乳幼児および小児または意思表示のできない人には使用しないこと。ケガや事故をおこすおそれがあります。

<併用医療機器>「相互作用の項参照」

- 1) MRI 検査を行う際は本品を検査室に持ち込まないこと。MR 装置への吸着や、熱傷等のおそれがあります。
- 2) 高圧酸素患者治療装置に本品を持ち込まないこと。誤動作や破損、爆発のおそれがあります。

<使用方法>

- 1) 測定結果の自己判断や自己判断による治療はしないこと。必ず医師の指導、指示に従ってください。
- 2) 傷など未治癒の腕に腕帯を巻かないこと。症状を悪化させるおそれがあります。
- 3) 点滴静脈注射や輸血を行っている腕に腕帯を巻かないこと。ケガや事故をおこすおそれがあります。
- 4) 可燃性ガスおよび支燃性ガスの近くでは使用しないこと。発火・引火のおそれがあります。
- 5) 耐用期間を超えて使用しないこと。正しく測定できないおそれがあります。
- 6) 不特定多数の人が対象となる医療機関や公共の場所では使用しないこと。事故やトラブルの原因になります。

注 意

【使用上の注意】

<使用注意>

- 1) 次の状態や症状又は過去に処置を受けたことのある方は医師に相談のうえ使用すること。正しく測定できないおそれがあります。
 - ・妊娠中毒症を含む妊婦
 - ・糖尿病
 - ・肝臓病
 - ・動脈硬化
 - ・高血圧症
 - ・不整脈
 - ・乳腺切除した方
 - ・血管内挿管
 - ・血管内治療
 - ・動静脈 (A-V) シャント
 - ・リンパ節の除去

<重要な基本的注意>

- 1) 異常加圧が発生した場合は、[測定／停止] ボタンを押して測定を中止すること。
- 2) 血圧は以下の要因で変動するので注意すること。
 - ・時刻や季節
 - ・高血圧治療などの薬剤
 - ・飲食（アルコールを含む）
 - ・喫煙
 - ・身体活動
 - ・精神的緊張
 - ・入浴
 - ・尿意
 - ・会話
 - ・その他の環境（病院での受診中など）
 - ・測定姿勢（心臓に対する腕帯の高さを含む）
- 3) 本品を水や消毒液等に浸さないこと。
- 4) 腕帯の締め付けにより、一過性の内出血が発生し赤みが残る可能性がある。痛みを感じた場合には、[測定／停止] ボタンを押して測定を中止すること。
- 5) 救急搬送中の患者の血圧測定に使用しないこと。
- 6) 必要以上の頻度で測定を行わないこと。
- 7) 血圧測定の目的以外には使用しないこと。また、上腕以外に腕帯を巻かないこと。故障や事故の原因になります。
- 8) 次のような場所では本品を使用しないこと。誤動作や故障の原因になります。
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・温度差の激しい場所や高温多湿な場所
 - ・ほこりの多い場所
- 9) 落としたり、強い衝撃を与えないこと。誤動作や故障の原因になります。
- 10) 使用前に上腕の周囲を測り、適用範囲内であることを確認すること。適用範囲外で使用すると、誤差の原因になります。

- 11) 付属品は指定されたものを使うこと。指定外のものを用いると、誤差の原因になります。
- 12) エアー管が折れ曲がったりねじれたりしていないことを確認すること。圧力がかかったまま腕帯から空気が抜けず、血流障害を起こすおそれがあります。
- 13) 腕帯は測定部位に正しく装着し、測定中は心臓の高さに保つこと。誤った装着や高さのズレは誤差の原因になります。
- 14) コードを引っ張り AC アダプタを抜かないこと。コードが断線し、火災や感電の原因になります。
- 15) 濡れた手で AC アダプタの抜き差しをおこなったり、ピンセットや導電性のあるものでふれたりしないこと。
- 16) 電池交換などで本品の電池または電池端子にふれているときや、AC アダプタを抜き差しする際に AC アダプタのプラグにふれているときは、他の人にふれないこと。
- 17) AC アダプタでの使用中に本品に異常が発生した場合は、コンセントから AC アダプタのプラグを抜き、確実に電源を切ること。家具などの影にあるコンセントに AC アダプタのプラグを差込むと緊急対処ができない場合があります。
- 18) 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を同時に使わないこと。発熱などにより故障の原因になります。
- 19) 本品の上に重い物をのせたり、エアー管を縛ったりしないこと。故障の原因になります。
- 20) 分解・修理・改造はおこなわないこと。誤動作や故障の原因になります。
- 21) データの送信中は、本体から電池を外したり AC アダプタを抜いたりしないこと。データが破損するおそれがあります。

<相互作用 (他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)>

[併用禁忌] (併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MRI装置 (磁気共鳴画像診断装置)	検査室に本品を持ち込まないこと。 MRI検査を行うときは、本品を患者から取り外すこと。	誘導起電力により局所的な発熱で火傷のおそれがある。 また、磁気により本品が吸着されるおそれがある。
高圧酸素患者治療装置	装置内に持ち込まないこと。	誤動作や破損及び経時的な劣化をきたすおそれがある。 また、爆発の誘因となるおそれがある。

[併用注意] (併用に注意すること)

- 1) 電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器 (ペースメーカー、植込み型除細動器など)
誤動作のおそれがあります。
- 2) 腕帯を巻いた側の腕や手に装着した医療機器
腕帯の加圧により医療機器の機能に一時的な影響を及ぼすおそれがあります。
- 3) 電気手術器 (電気メス)
電気メスの高周波エネルギーにより本品が誤動作する可能性があります。
- 4) 装着形の医用電子機器 (心電計など)
誤動作のおそれがあります。

- 5) 電磁波を発生する機器（電子レンジ／電磁調理器など）
誤動作や故障の原因になります。
- 6) 電波を発生する機器（携帯電話／PHS など）は、本品から 30cm 以上離して使用すること。誤動作や故障の原因になります。

<不具合・有害事象>

- 1) 不具合
動作不良、故障、破損、誤計測
- 2) 有害事象
痛み、アレルギー反応、血行障害

【妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用】

- 1) 妊婦、産婦が使用する場合は、医師に相談のうえ使用すること。
- 2) 乳幼児および小児または意思表示のできない人には使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 次回の使用に支障のないよう清潔に保ち湿気の少ないところに保管すること。
保管環境 温度：-20～60℃
相対湿度：10～95% RH（結露なきこと）
- 2) 長期間使用しないときには、電池を取り外すこと。電池の液もれが起り、本品を傷める原因になります。
- 3) 耐用期間：5年あるいは30,000回（消耗品は除く）
[自己認証（当社データによる）]

- 4) 本品には電池や小さな部品が含まれているので、お子様だけで使わせたり乳幼児やペットの届く所に保管しないこと。けがや誤飲のおそれがあります。
- 5) エアー管やコードによる窒息を避けるため、お子様の手の届くところに本品を保管したり、エアー管やコードを首に掛けたりしないこと。エアー管やコードによる窒息のおそれがあります。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 使用後は汚れていたり濡れていないかを確認すること。本品の清掃方法は、46 ページを参照してください。
- 2) 本品の表面の汚れは、ぬるま湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で乾拭きすること。
- 3) 腕帯の汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしくたたいて落とすこと。
- 4) エアー管に水が入らないように注意し、しっかり乾かすこと。
- 5) 洗濯機を使用したりこすったりしないこと。
- 6) ベンジン、シンナー、ガソリン、アルコールなどの溶剤は使用しないこと。本品を傷める原因になります。
- 7) 動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用を中止すること。お買い上げの販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 8) 本品および使用済みの電池を廃棄する場合は、各自治体の規則に従い適切に処分すること。

作動原理

動脈を腕帯で圧迫すると、心拍に合わせて脈動が起こり、腕帯内の圧力が脈動と同調します。この脈動は腕帯の圧迫状況に応じ変化します。オシロメトリック式の血圧計は、腕帯の圧力を徐々に変化させた時に見られる脈動の大きさの変化をもとに最高血圧及び最低血圧を決定します。

次のものが揃っていますか？

次のものが揃っているかご確認ください。不足しているものがあるときには、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（☎ 0120-211-164）までご連絡ください。

本体

腕帯コネクタ
接続部

電池カバー

朝／夜メモリーボタン
(Bluetooth 接続ボタン)

時計設定ボタン

[測定／停止] ボタン

ダウンボタン [V]

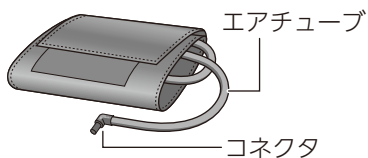
アップボタン [^]

メモリーボタン[M1/M2]

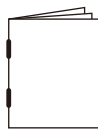
メモリーボタン[ID]

ACアダプタ
接続部

表示部



腕 帯 (消耗品)

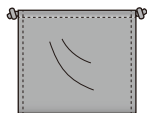


取扱説明書 (本書)

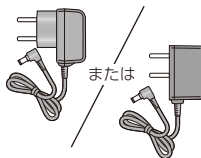


お試用ですので寿命が短いことがあります。

単3形アルカリ乾電池 4本



ポーチ



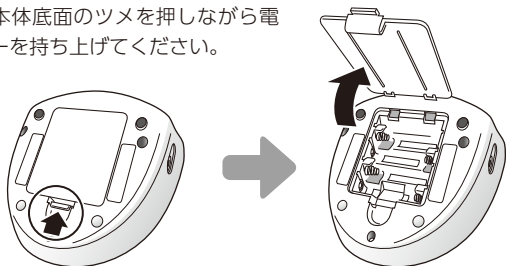
専用 AC アダプタ

使用前の準備

① 電池を挿入する

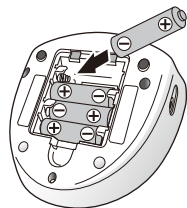
電池カバーを開く

血圧計本体底面のツメを押しながら電池カバーを持ち上げてください。



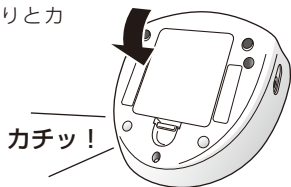
向きに注意して、単3形電池を4本入れる

電池を入れたり取り外したりするときは、電池のマイナス側をバネに押し付けるようにしてください。




電池カバーを閉める

カチッと音がするまでしっかりとカバーを閉めてください





電池残量が少なくなると電池交換マーク [] が点滅します。電池交換マークが点滅表示から点灯表示になると血圧測定をおこなうことはできません。



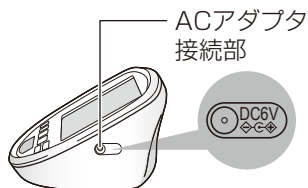
電池交換マークが表示されたら 4 本の電池全てを新しい電池と交換してください。電池は同じ種類のものを使用してください。種類の違う電池や古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。

電池を挿入するか、専用 AC アダプタを接続し、はじめに血圧計の時計を設定してください。

時計の設定をおこなうと時計機能が有効になります。時計機能を有効にしなくても測定をおこなうことはできますが、保存されている測定結果を呼び出したときに、測定日時や測定結果の平均値を確認することはできません。時計機能を有効にし、血圧管理にお役立てください。

ACアダプタで使用する場合

血圧計本体右側の AC アダプタ接続部に専用 AC アダプタを接続してください。



付属または指定の専用 AC アダプタ以外は使用しないでください。また、本品の AC アダプタを他の機器に使用しないでください。



濡れた手で AC アダプタの抜き差しをおこなったり、ピンセットや導電性のあるものでふれたりしないでください。また、測定中に AC アダプタにふれないでください。



AC アダプタの抜き差しは AC アダプタ本体、コネクタ部を持っておこなってください。



② 時計を設定する

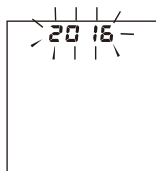
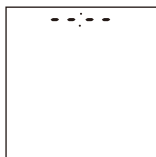
時計設定ボタンを押す

表示部上部に [- - : - -] が表示されます。

表示が年 [2016] の点滅に変わるまで長押ししてください。



そのまま長押し



【年】をあわせる

アップボタン [^] を押すと数値が大きくなり、ダウンボタン [v] を押すと数値が小さくなります。

大きくなる 小さくなる



確定する

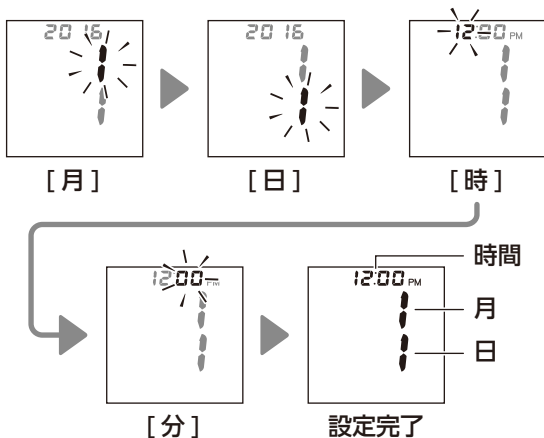
数値をあわせたら時計設定ボタンを押し [年] を確定してください。



確定する

同様の操作方法で、[月]、[日]、[時]、[分]を設定する

[分]を確定したら時計設定は完了です。



- 表示される[年]は製造年を示すものではありません。
- 時計設定中に3分間何も操作がされないと、時計設定は終了になります。
- 時計設定後は、電源がオフの状態でも日付と時間が表示されます。
- 時計を再設定したい場合は、[年]が点滅に変わるまで時計設定ボタンを長押ししてください。

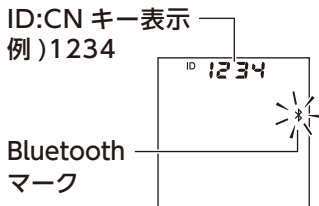
③ CN キーを表示させる

Bluetooth 接続ボタンを長押しする

血圧計本体の Bluetooth 接続ボタンを 3 秒以上長押ししてください。



Bluetooth マークが点滅し、通信モードに切り替わり CN キーを表示します。



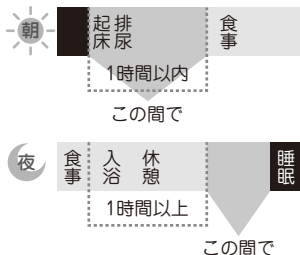
Bluetooth の接続方法に関しては、ご使用のシステムの操作方法をご確認ください。

正しく測るための注意事項

血圧は、測定条件が変わると値も変わります。毎日同じ時刻に同じ環境で測定するように心がけましょう。

● 朝と夜、測定する時刻を決める

起床後と就寝前が1日の内で最も血圧が安定すると言われています。朝は、起床後1時間以内で食事の前に、夜は、食事の後1時間以上間をあけて測定します。



● 測定する腕（左腕／右腕）を決める

左右の腕で血圧値が異なることがあります。家庭で測定するときにはいつも決めた腕で測定します。

● 同じ環境、静かな場所で測定する

血圧は周囲の音や動きにも影響を受けます。

また、寒いと血圧は高くなります。20℃くらいの室温が血圧測定に適しています。



● リラックスして測定する

緊張したり心が動揺していると血圧は高くなります。深呼吸を数回して5分くらい安静にしてから測定します。



● 測定中は静かに、動かない

話をしたり体を動かしたりすると血圧は変化します。また、本品は血圧測定方法にオシロメトリック法を採用しています。

オシロメトリック法はかすかな脈動変化をとらえて血圧を測定します。

このため、測定中に話をしたり腕や体を動かしたりすると正しい測定結果となりません。



ポイント

尿意があるときはトイレに行ってから測定する。

喫煙直後に測定しない。

運動、入浴後はしばらくしてから測定する。



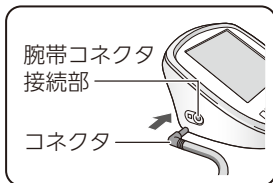
尿意があるとき、食事や喫煙の直後、運動中や運動直後は血圧が高くなります。

血圧を測定する

① 腕帯を本体に接続する

腕帯のコネクタを血圧計本体の腕帯コネクタ接続部に差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。



② 椅子に座り腕帯を巻く

腕帯を腕にのせる

エアチューブが手の方にくるようにのせてください。

エアチューブが肩側にきている

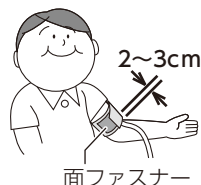


腕帯をとめる

腕帯を肘関節より2～3cm上の位置にあわせて面ファスナーでとめます。

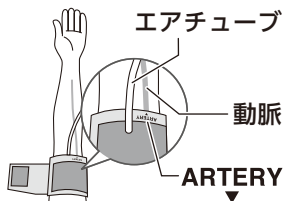
腕帯の表面を押さえてしっかりとめてください。

腕帯の [INDEX] マークが [OK] ライン内であることを確認してください。



向きをあわせる

「ARTERY」の文字が動脈の上に来るように、または、エアチューブが腕の中心にくるようにしてください。



テーブルの上に腕をのせる

足を組まずに両足を床に置いた状態で椅子に座り、背もたれにもたれてリラックスしてください。

テーブルの上に自然にのぼし、腕帯が心臓の高さになるようにしてください。

腕帯が心臓よりも高いと測定値は低く、心臓よりも低いと測定値は高くなる傾向があります。



- 腕帯を左腕に巻けない場合は右腕に巻いてください。ただし測定は毎回決めた方の腕でおこなってください。
- 右腕に腕帯を巻くときは、エア管が肘の内側（横）にくるように腕帯の向きを合わせることで、「ARTERY」と動脈を合わせることもできます。
- 仰向けに横になって測定をおこなうこともできます。その場合でも腕帯は心臓の高さにあわせてください。
- 測定姿勢により（座って測定する場合と横になって測定する場合は）測定値は多少異なります。

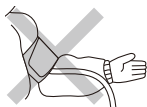


腕帯を巻く時の注意点！

次のような状態で腕帯を巻いた場合には正しく測定できません。

再度巻き直してから測定をおこなってください。

厚手の衣類の上から



衣類の袖を巻き上げて



血液の循環が妨げられるような
きつい衣類の上から



巻き方がきつすぎる



巻き方がゆるすぎる

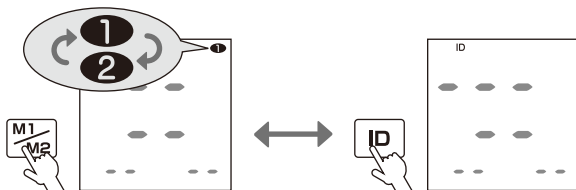


③ メモリーを選択する

保存したいメモリーを選択してください。

本品にはメモリー（M1、M2）と測定データ送信用のメモリー（ID）があります。メモリーボタンを押すとメモリーが切り替わります。

測定データを送信するにはメモリー（ID）を選択してください。



※ 測定結果が保存されている場合は、バー表示ではなく測定結果が表示されます。

メモリー	保存可能測定結果数	データ送信
M1	60	×
M2	60	×
ID	1	○

測定結果は、測定が終わって電源を切るときに選択しているメモリーに保存されます。

※ [Err] 結果は保存されません。



保存可能測定結果数を超えると、最も古い測定結果が消去され、新しい測定結果が保存されます。

④ 電源を切る

〔測定／停止〕ボタンを押す

測定を開始するために一度電源を切ってください。

測定／停止

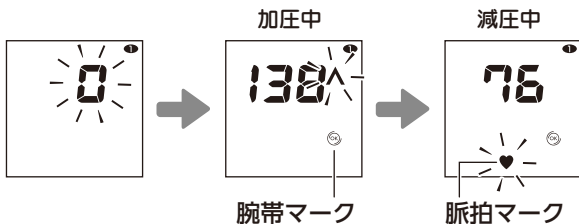


電源を切ると日付と時計が表示されますが、時計機能を有効にしていない場合には何も表示されません。

⑤ 測定を開始する

〔測定／停止〕ボタンを押す

加圧が始まり、自動測定を開始します。



腕帯が正しく装着されている場合は、加圧中に腕帯マーク [OK] が表示されます。

加圧が止まると減圧しながら測定をおこない、脈波が検出されると脈拍マーク [♥] が点滅します。

途中で測定を中止したい場合は、〔測定／停止〕ボタンを押してください。

空気が抜けて電源が切れます。

〔測定／停止〕ボタンを押しても、空気が抜けない場合は、腕から腕帯を外し、本体から腕帯コネクタを抜いてください。

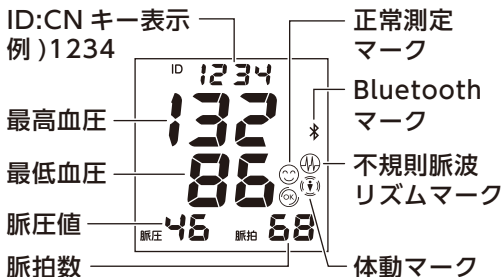
自動再加圧

測定中に動いたり手に力を入れたりすると、再度加圧がおこなわれます。再加圧では前回の値よりも約 30mmHg 位高い圧力まで腕帯が加圧されます。

⑥ 測定結果を確認する

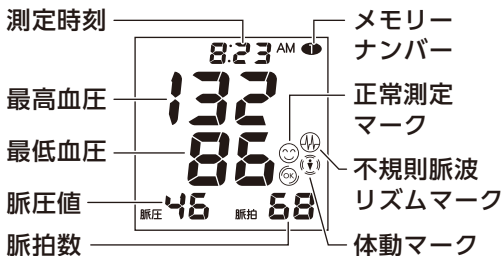
測定が終了すると、腕帯から空気が抜けて結果が表示されます。

メモリー (ID) を選択して測定した場合の結果表示



メモリー (ID) を選択して測定した場合は、測定が終了すると Bluetooth マークが点滅して通信モードになり、データ送信が可能になります。

メモリー (M1、M2) を選択して測定した場合の結果表示



● 正常測定マーク

正しく測定がおこわれたことをお知らせします。

● 体動マーク

測定中に体が動いた場合に表示します。体を動かすと正しく測定をおこなうことができません。

● 不規則脈波リズムマーク

測定中の脈波の間隔が一定でなかったときに表示します。安静状態で測定していても常に表示される場合もあります。そのような場合は、医師にご相談ください。

※ 脈圧については 41 ページを参照

エラー表示

[Err] が表示されたときは、
42 ページを参照してください。



体動マークと不規則脈波リズムマークが表示された場合は、正しく測るための注意事項を良くお読みになってから、もう一度測定してください。




測定をやり直すときには、間をあけてからおこなってください。測定を続けておこなうと腕が鬱血し、正しい測定結果がでません。測定を途中でやめたときでも1分程度腕を休めてから測定してください。

⑦ 電源を切る

〔測定／停止〕ボタンを押す

選択中のメモリーに測定結果が自動的に保存され電源が切れます。

電源を切り忘れても、約3分経つと自動的に電源が切れ測定結果が保存されます。



測定 / 停止



電源を切ると日付と時計が表示されますが、時計機能を有効にしていない場合には何も表示されません。

手動で加圧する

血圧値が高めで再加圧が気になる場合には、ご自分の血圧値にあわせて初期加圧値よりも高い圧力に手動で加圧することもできます。

1. [測定 / 停止] ボタンを押す。

測定を開始してください。

加圧開始



2. 加圧値が 50 前後になったら [測定 / 停止] ボタンを長押しする。

ボタンを押したまま離さないでください。



そのまま離さない



3. ボタンを離す。

圧力がご自身の最高血圧値よりも 40 ~ 50mmHg 高くなったらボタンを離してください。

ボタンを離す



圧力が 190mmHg を超えればボタンを離すと加圧は止まります。このとき、必要以上の加圧はしないでください。無理な加圧は鬱血^{うっけつ}の原因となります。

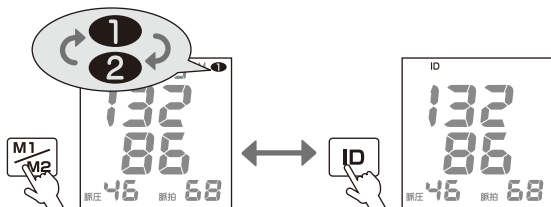
圧力は 280mmHg 以上加圧できません。

保存されている結果をみる

① 測定結果を確認する

 または  を押す。

メモリーボタン [M1/M2] またはメモリーボタン [ID] を押して表示させたいメモリーを選択してください。

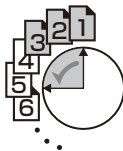


メモリー M1、M2 の場合は測定結果の平均値が表示され、メモリー (ID) の場合は前回の測定結果が表示されます。

平均値

最も新しい測定結果の測定時刻から 15 分以内にある、最大 3 回分までの測定結果の平均を示します。

 の後の数字はこの測定結果数 (最大 3) を表します。



- 測定時に時計が設定されていなかったときには、平均値は表示されません。
- 15分以内にある3回の測定結果の平均を見ることで、より正確なご自身の血圧を知ることができます。

② 個別の測定結果を確認する

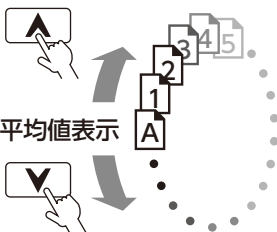
メモリー M1、M2 では、保存された最大 60 回分の測定結果を確認することができます。

▲ または ▼ を押す

測定結果の表示中にアップボタン [▲] を押すと、表示中のメモリーに保存されている新しい測定結果から順に表示されます。

ダウンボタン [▼] を押すと古い測定結果から逆順に表示されます。

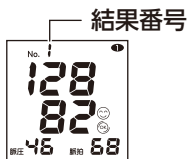
新しい結果から表示



古い結果から表示

表示部上部に結果番号、測定月日、測定時刻が切り替り表示されます。

結果番号は、数字が小さいほど新しい結果をあらわします。



- 測定時に時計が設定されていなかったときには、測定月日、測定時刻の表示が [- / - / -] [- : - : -] となります。
- メモリー (ID) は 1 回分の測定結果しか保存できないため、遡って測定結果を確認することはできません。

③ 朝と夜の測定結果を別々に確認する

メモリー M1、M2 での測定結果は、測定した時間帯で朝メモリーと夜メモリーに自動的に振り分けられます。

☀️ 朝メモリー：AM4:00～AM10:00

🌙 夜メモリー：PM7:00～AM2:00（翌日）

この時間帯以外の測定結果は、朝／夜メモリーには振り分けられません。

朝／夜メモリーボタンを押す

測定結果の表示中に朝／夜メモリーボタンを押すと、朝メモリー（平均値）を表示し、もう一度押すと夜メモリー（平均値）を表示します。



▲ または ▼ を押す

アップボタン [▲] やダウンボタン [▼] を押すと、通常のメモリー表示と同様に結果の前回値を表示することができます。



メモリー (ID) には朝メモリーと夜メモリーはありません。

④ 電源を切る

〔測定／停止〕ボタンを押す

電源を切らなくても、測定結果は約 30 秒間表示され、その後自動的に電源が切れます。



電源を切ると日付と時計が表示されますが、時計機能を有効にしていない場合には何も表示されません。

保存されている結果を削除する

削除したい測定結果を表示させる。

33 ページの [② 個別の測定結果を確認する] を参照して、削除したい測定結果を表示させてください。

または を長押しする。

選択しているメモリーと同じメモリーボタンを長押ししてください。

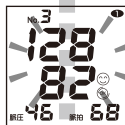
長押し

...約4秒



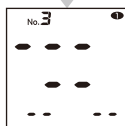
削除中

...約4秒



表示が [- - -] [- -] に変わるとメモリーから結果が削除されます。

削除完了



朝／夜メモリー表示では測定結果の削除はできません。通常のメモリー表示にしてから削除をおこなってください。

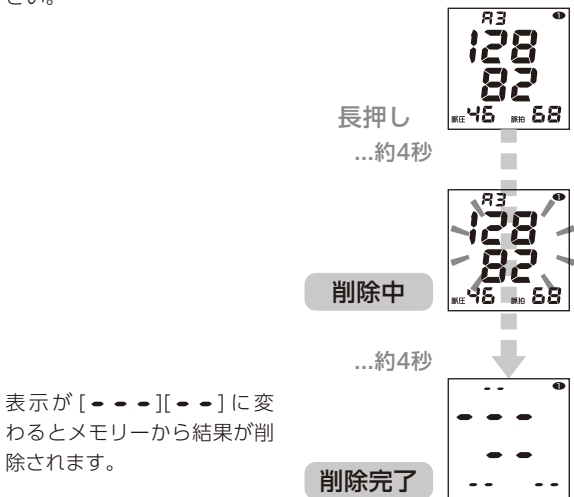
● 全ての測定結果を削除する場合 ●

削除したいメモリの平均値を表示させる。

32ページの[① 測定結果を確認する]を参照して、削除したいメモリの平均値([R])のついた結果)を表示させてください。

 **を長押しする。**

選択しているメモリと同じメモリボタンを長押ししてください。



知っておきましょう

● 血圧とは

血管内を流れる血液が血管の内壁におよぼす圧力のことをいいます。

最高血圧（収縮期血圧）

心臓が収縮して血液が送り出され血管内の圧力が上がります。



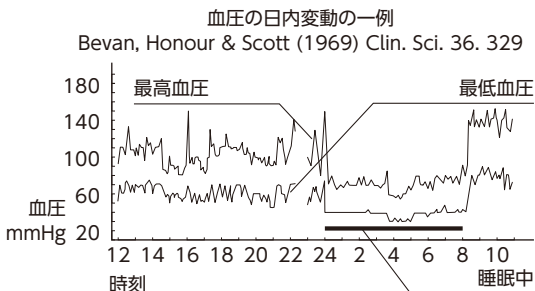
最低血圧（拡張期血圧）

心臓が拡張して血液が心臓にもどり血管内の圧力が下がります。



● 血圧は常に変化しています

血圧は心身のいろいろな条件で変化し、いつも一定のものではありません。



以下の要因で血圧は変動します。

- ・時刻や季節
- ・身体活動
- ・高血圧治療などの薬剤
- ・飲食（アルコールを含む）
- ・喫煙
- ・精神的緊張
- ・入浴
- ・尿意
- ・会話

安静状態での血圧値を正確につかむためには、5分以上休憩をいれながら何回か測定することをお勧めします。

● 高血圧とは

WHO では血圧を下の表のように分類しています。しかし、血圧値は人種、地域、性別、年齢によってかなりの差がみられ、人により目標値も異なります。測定結果はご自分で判断せずに必ず医師の指導を受けてください。

(mmHg)

	収縮期血圧 (最高血圧)		拡張期血圧 (最低血圧)
至適血圧	120未満	かつ	80未満
正常血圧	120～129	かつ/または	80～84
正常高値血圧	130～139	かつ/または	85～89
I 度高血圧	140～159	かつ/または	90～99
II 度高血圧	160～179	かつ/または	100～109
III 度高血圧	180以上	かつ/または	110以上
収縮期高血圧	140以上	かつ	90未満

WHO Guideline 1999

● 日本人の血圧状況

高齢になるほど、高血圧の割合が多くなる傾向がみられます。

割合(%) \ 年齢(歳)	15~19		20~29		30~39	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
至適血圧	78.6	98.6	41.7	84.4	30.0	73.3
正常血圧	14.3	0.0	32.3	11.1	33.2	16.6
正常高値血圧	5.4	1.4	18.8	3.0	20.7	5.9
高血圧	1.8	0.0	7.3	1.4	16.2	4.2

40~49		50~59		60~69		70以上	
男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
22.8	52.3	9.8	26.5	6.5	14.0	8.3	8.2
23.2	18.9	16.1	20.0	13.9	18.1	12.1	15.3
25.9	12.7	21.7	18.9	24.4	23.4	22.9	21.3
28.2	16.1	52.5	34.6	55.2	44.5	56.8	55.3

年齢別血圧の状況（厚生労働省 平成19年国民健康・栄養調査による）

● 脈拍数について

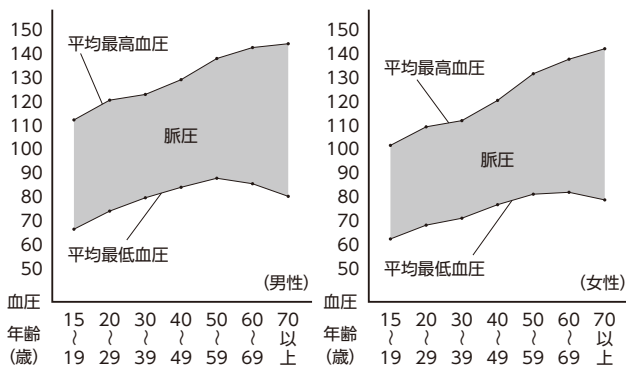
脈拍数は、健康状態を知るうえで非常に大切な値です。一般に成人の脈拍数は、椅子に掛けた安静状態で60～80拍／分が正常値とされていますが、疲労が蓄積されていたり、体調が悪いときには、10～20拍／分多くなることがあります。

自分の安静脈拍数を知り、その日の脈拍数と比較することで、健康状態の変化を見分けるための目安となります。

● 脈圧とは




脈圧とは最高血圧値と最低血圧値の差の値で、動脈硬化とも深く関係があるといわれ、循環器系危険因子のひとつとして広く研究されています。

脈圧は一般的には45mmHg前後が目安とされていますが、年齢とともに大きくなる傾向にあります。おかしいと感じた方は、ご自分で判断せずに必ず医師の指導を受けてください。



年齢と血圧の平均値 (厚生労働省 平成19年国民健康・栄養調査による)

困ったなと思ったら

こんなとき	原因
血圧が異常に高く又は低く表示される。	腕帯を心臓の高さにあわせて測定していない。
	腕帯が正しく巻かれていない。
	測定中に動いたり話をしたりした。
測定値がいつも異なる。	心身状態や測定状態が血圧に影響を与えている。
病院での測定と値が異なる。	病院での緊張感、ご家庭でのリラックス感などの精神状態が血圧に影響を与えている。
加圧が繰り返される。	測定中に動いたりすると再加圧がおこなわれます。
データが転送されない。	メモリー(ID) が選択されていない。
 または  が表示された。	測定中に動いたり話をしたりした。
	測定結果が測定範囲を超えた。
 が表示された。	エアチューブが折れ曲がっている。
	測定中に手や腕を動かしたり、話をしたため最大加圧まで加圧された。

対 策

測定中は腕帯を心臓の高さにあわせてください。

腕帯の巻き方を確認してください。

測定中は動いたり話をしたりしないでください。

同じ条件のもとで測定してください。

ご家庭で測定した血圧は、記録をつけ、医師の指導や診断をお受けください。

測定中は動いたり話をしたりしないでください。再加圧については 27 ページを参照してください。

測定前にメモリー (ID) を選択してから測定してください。

測定中は動いたり話をしたりしないでください。



毎回表示される場合は、医師にご相談ください。

エアチューブに折れ曲がりや、潰れがないか確認してください。

測定中は動いたり話をしたりしないでください。

こんなとき

原因

 が表示された。	エアチューブが折れ曲がっている。 腕帯のコネクタがしっかり接続されていない。 腕帯が正しく巻かれていない。 測定中に動いたり話をしたりした。
ボタンを押しても何も表示されない。 (測定が開始しない)	ACアダプタが接続されていない。 電池が消耗している。 電池の向きが誤っている。 電極が汚れている。
時計が表示されていない。	時計機能が無効になっている。
測定日時が [- - : - - -] [- - : - - -] で表示される。	時計が設定されていない。 時計を設定する前におこなった測定結果を表示している。
メモリーの全消去ができない。	時計機能が有効になっていない。
 が表示された。	ボタンを押しながら、ACアダプタ接続した。または電池を挿入した。

対 策

エアチューブに折れ曲がりや、潰れがないか確認してください。

コネクタの接続を確認してください。

腕帯の巻き方を確認してください。

測定中は動いたり話をしたりしないでください。

専用 AC アダプタを接続してください。

4 本すべて新しい電池と交換してください。

電池を正しく入れなおしてください。

乾いた布できれいにしてください。

時計を設定し、時計機能を有効にしてください。

時計を設定し、時計機能を有効にしてください。

時計設定の前に測定をおこなったときには測定日時が保存されません。

メモリーの全消去にはメモリーの平均値が必要です。平均値を表示するために、時計を設定してから測定をおこなってください。

[測定/停止] ボタンを押して、一度電源を切ってください。

以上の方法でも、測定が正常にできないときは、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

ごくまれに、体質上誤差を生じて、正しく血圧を測れないことがあります。医師にご相談ください。

本品の取り扱いに関して

血圧計の性能は使用した回数、使用・保管方法、年数に影響を受けて劣化します。本品（消耗品を除く）の耐用期間は5年あるいは30,000回です。「自己認証（自社データ）による」

● 本品のお手入れ

使用後は汚れなどがいないか確認してください。血圧計本体の表面の汚れはぬるま湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。腕帯の汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしくたたくようにしてとります。エアチューブに水が入らないように注意し、しっかり乾かしてください。洗濯機を使用したりこすったりしないでください。

ベンジン、シンナー、ガソリンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。本品を傷める原因になります。

● 本品の保管

保管の際にポーチを使用すると、本品を保護することができます。ポーチに入れる際は、本体からエアコネクタやACアダプタを取り外してください。

次のような場所に保管、または長時間放置しないでください。故障、本品の劣化の原因になります。

- 直射日光のあたる場所
- 温度差の激しい場所や高温多湿な場所
- ほこりの多い場所
- 防虫剤の入ったタンス等

本品を長期間使用しないときには、電池を取り外しておいてください。電池を入れたままにすると電池の液もれが起こり本品を傷める原因になります。

● 本品の取り扱い

ACアダプタや電池の取り外しは、必ず血圧計の電源を切ってからおこなってください。故障の原因になります。

腕帯を血圧計から取り外すときには、コネクタを持っておこなってください。

本品の上に重いものをのせたりエアチューブをしばったりしないでください。

ボタンや表示部を強く押さないでください。また、表示部を下にして置かないでください。本品を傷めたり誤動作の原因になります。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。誤動作や故障の原因になります。



腕帯を腕に巻いていないときは加圧させないでください。故障の原因になります。

本品の分解・修理・改造はしないでください。故障の原因になります。

気温 40℃以上または 10℃以下の環境に本品を保管した場合は、使用環境範囲内の気温に 2 時間以上保管後に測定をおこなってください。誤動作の原因になります。

製品仕様

販売名	デジタル血圧計 DS-S10
医療機器認証番号	226AFBZX00163000
測定方法	オシロメトリック法
測定方式	減圧中測定
圧力表示範囲	3 - 300mmHg (腕帯圧力)
血圧測定範囲	50 - 250mmHg (最高血圧) 40 - 180mmHg (最低血圧)
脈拍測定範囲	40 - 160 拍/分
最大圧力	300mmHg
環境条件による圧力表示誤差	150mmHg を超えない場合は ± 3 mmHg 以下、 150mmHg を超える場合は測定値の 2% 以下
臨床性能試験による血圧測定の誤差 ※ 1	聴診に対する 平均誤差 ± 5 mmHg 以内 標準偏差 8mmHg 以内
脈拍測定精度	$\pm 5\%$ 以内
停止操作	停止操作スイッチを切った後 30 秒以内に 15mmHg まで減圧
血圧測定の再現性	血圧判定の再現性は 3.0mmHg (0.4kPa) 以下
加圧	自動 (エアポンプ)
減圧	自動 (電子制御弁)
排気	自動急速排気弁
電源	専用 AC アダプタ または単 3 形アルカリ乾電池 4 本
電氣的定格	専用 AC アダプタ使用時
	アダプタ ADP-W5 使用時： アダプタ定格 AC100-240V 50/60Hz 0.12A アダプタ UM305-0605 使用時： アダプタ定格 AC100-240V 50/60Hz 0.16-0.12A
	本体定格：DC6V 500mA
	単 3 形アルカリ乾電池 4 本使用時
	DC6V/4W

メモリー	M1/M2 : 60 回分の測定結果と平均値×2
	ID (送信用) : 1回分の測定結果
通信方式	Bluetooth® LE
搭載プロファイル	GATT(Custom Profile)
使用環境	温度 10 ~ 40℃ 相対湿度 15 ~ 85%RH (結露なきこと) 気圧 : 700 ~ 1060hPa
輸送・保管環境	温度 -20 ~ 60℃ 相対湿度 10 ~ 95%RH (結露なきこと)
測定可能上腕周囲	約 22 - 32cm
本体寸法	縦 162.3 × 横 127.3 × 高さ 96mm
本体質量	約 344g (付属品を含まない)
耐用期間 (消耗品を除く)	5年あるいは 30,000 回 [自己認証 (自社データ) による]
電撃保護	内部電源機器およびクラス II 機器 ☐ : クラス II 機器 ⚡ : BF 形装着部
外来固形物及び水の有害な浸入に対する保護の程度による分類	IP20 (指の侵入に対する保護。水の侵入に対する保護は無し。)
空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全の程度による分類	空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガス中での使用に適しない機器
作動 (運転) モードによる分類	連続作動 (運転) 機器
	付属文書をお読みください
	機器固有識別子※ 2

※ 1 試験方法は、ISO 81060-2:2013 に基づく。

※ 2 医療機器を識別するために機器本体、ラベル、パッケージに表示されるコード

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG. Inc. が所有する登録商標であり、日本精密測器株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

お断りなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

技術サポート

本品は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMD（電磁妨害）規格、IEC60601-1-2:2014+A1:2020 に適合している装置です。

医用電気機器は、電磁妨害に関する特別な注意が必要であり、以下の情報に従って使用される必要が有ります。

- 本品は、高周波手術機器や MRI 装置（磁気共鳴画像装置）の近傍など、電磁妨害の強さが高い環境での使用を意図していません。
- 本品を、他の機器に隣接させて、又は積み重ねて使用しないでください。不適切な動作の原因になります。
- 本品の製造者によって規定されているか、又は提供されるもの以外の付属品を使用すると、本品の電磁エミッションが増加するか、又は電磁イミュニティが減少し、不適切な動作の原因になる可能性があります。
- 本品の性能の低下の原因になる可能性があるため、携帯型の RF 通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、本品と共に使用されるケーブルを含む本品のどの様な部分からも 30cm 以上離して使用してください。

IEC60601-1-2 の詳細については、弊社ホームページのお問い合わせフォームまたは販売店にお問い合わせください。

保証規定

有効保証期間はご購入後1年間です。

取扱説明書に従った正常なご使用状態で、万一故障した場合には、無料で修理をいたします。

保証期間内に無料修理を受けられるときは、商品に本保証書を添えて、ご購入の販売店または弊社までご連絡ください。修理品を弊社あてに直接送付される際の送料は、お客様ご自身でご負担ください。

本保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

1. 誤った使用や、不注意による故障または損傷。
2. 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
3. 不当な修理や改造による故障または損傷。
4. 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の使用電源およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
5. 一般家庭以外（病院や施設など）でのご使用による故障または損傷。
6. 本保証書の提示がない場合。
7. 本保証書に販売店、ご購入日などの記載の不備がある場合、あるいは内容を書き替えられた場合。
8. ご使用後の外装面の傷、破損、および外装部品、付属品の交換。


品質保証書

このたびは、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

本品は、高度な技術と徹底した生産管理そして厳重な品質検査を経てつくられた製品ですが、通常のご利用において万一不具合が発生したときは、保証規定により修理および調整をいたします。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

販売名 : デジタル血圧計 DS-S10	型式 : DS-S10M
お名前 :	TEL :
ご住所 :	
販売店名 販売店にて記入捺印していただくか、販売店で発行されたお買い上げが証明できるレシートなどを貼付けしてください。	
	
お買い上げ年月日 年 月 日	

日本精密測器株式会社

本社・工場 〒377-0293 群馬県渋川市中郷 2508-13 ☎0279-20-2311 (代)

お客様相談室 ☎0120-211-164 (9:00～12:00、13:00～17:00 土・日・祝祭日を除く)

ホームページ <https://www.nissei-kk.co.jp/>